

# 関西大学経済・政治研究所 第225回産業セミナー

## 【再考・「幻の総合商社」鈴木商店】

今から100年前の1917年に神戸港は横浜港の貿易額を抜き日本一の貿易港となった。神戸を拠点とした貿易商社鈴木商店は当時急成長していたが、同社は関西経済のみならず日本全体、海外にも大きな足跡を残して1927年に倒産する。今年には鈴木商店倒産から90年でもあるが、この節目となる年に鈴木商店の成長と破綻について再検討したい。

アジアにおける近代大阪の発展研究班 主幹 西村雄志

9/23 (土)  
14:00-17:20

関西大学梅田キャンパス8階  
大ホール"KANDAI Me RISEホール"  
〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号  
TEL: (TEL) 06-4256-6410

入場無料・申込不要



テーマ・講演者

〈第1報告〉

「その半世紀の歩み: 1874-1927」

アジアにおける近代大阪の発展研究班 委嘱研究員  
流通科学大学 商学部教授 加藤 慶一郎

〈第2報告〉

「鈴木商店、成長への分岐点」

鈴木薄荷株式会社 常務取締役 高畑 新一

〈第3報告〉

「三井物産からみた鈴木商店」

アジアにおける近代大阪の発展研究班 委嘱研究員  
関西学院大学 商学部教授 木山 実

〈第4報告〉

「破綻した鈴木商店と生き残った兼松  
— 両社の命運を分けたもの —」

神戸大学 経済経営研究所 准教授 藤村 聡

司会

アジアにおける近代大阪の  
発展研究班 主幹  
関西大学 経済学部教授  
西村 雄志

問題提起

木山 実

コメント

神戸大学大学院  
経営学研究科  
准教授(経営学)  
平野 恭平



関西大学研究所事務グループ  
〒564-8680吹田市山手町3-3-35  
TEL:06-6368-1179 / FAX:06-6339-7721  
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp

主催 関西大学経済・政治研究所  
後援 大阪商工会議所 大阪市工業会連合会  
大阪市産業経営協会 株式会社りそな銀行